

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	一般排水路清掃支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	道路河川課				款	8	新規or継続	継続事業
	係	管理係				項	3	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市下水道清掃補助金交付要領	事業 期間	開始年度	H17	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	一般排水路を清掃する下水道組合に補助金を支出して支援する。また、2本の幹線道路の清掃を、事業委託により実施する ※下水組合とは、下水道清掃を実施する組合及び町会である。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	下水組合を支援することにより、その団体による自主的な一般排水路の清掃を促進する。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
清掃回数	回	29	29	29	29	29

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	一般排水路を清掃する下水道組合に補助金を出して支援する。また、2本の幹線排水路の清掃を業務委託により実施する。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		清掃幹線排水路	m	1,640	1,640	1,640
		事業費計	千円	687	669	674
		一般財源	千円	687	669	674
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	一般排水路を適切に管理することにより、雨水幹線排水路の集水能力が高まり、浸水対策に資する。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
清掃回数	回	29	29	29	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断		効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

地域コミュニティの定価、組合員の高齢化等により、清掃活動が困難である等の相談が寄せられている。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	組合員の若返り等の促しなどを勧める。
--	------	--------------------

事業名	界地区道路排水路整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ 該当なし

1．基本情報

担当組織	部	都市建設部			予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	道路河川課					款	8	新規or継続	継続事業
	係	河川係					項	3	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称		根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		佐野市公共物管理条例	事業開始年度	R3	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	R10	事業分類	施設等整備事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備							

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	栃木県による県道佐野古河線整備にあたり、県道と市道の排水を兼ねた排水路整備を行う事で、地域の道路冠水の解消を計る。県道排水路と調整池は、佐野市から市道排水分の負担金を県へ支払い、県が整備を行う。事業期間 令和3年度～令和10年度県道部分692m、市道部分359mの合計 1,051mと調整池1池
------	---

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	雨水排水路を整備し内水を排水することにより道路冠水を防止することで、市民生活環境の安全を確保する。
-------------------------	---

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
水路整備延長	m	0	0	0	0	363
調整池	池	0	0	0	0	1

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	県と締結した基本協定の変更協定を締結。また、令和5年度協定及び変更協定を締結した。 ・栃木県への負担金として、6,247千円支出した。(調整池の用地買収および用地買収に伴う補償分) 全体で14筆で、令和5年度は7筆用地買収行った。(12筆、用地買収済みとなった。)
--------------------------	--

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
排水路の整備率(事業費パーセント)	%	0.5	2.2	5.4
事業費計	千円	984	3,252	6,247
一般財源	千円	984	52	47
特定財源（国・県・他）	千円		3,200	6,200
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進するため、調整池の用地買収が進められ、あと2筆は令和6年度用地買収見込みで、令和6年度工事着手予定となった。
------------------	---

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
水路整備延長	m	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
調整池	池	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	2指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果は変わらない	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

用地交渉が難航しているため、工事が着手できていない。今後も県と情報共有して、事業を進めていく。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	公共下水道雨水幹線整備事業	実施計画事業or一般事業		実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算 科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	課	下水道課				款		新規or継続	継続事業
	係	下水道建設係					項		市単独or国県補助
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法 都市計画法	事業 期間	開始年度	S46	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度		事業分類	施設等整備事業
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	本事業は、降雨による浸水被害の解消・軽減を図るため、公共下水道における雨水幹線等を整備することを目的としています。 事業の実施にあたっては、関係法令による事業認可等を取得し、計画的に雨水幹線等の整備を実施します。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道区域内において、降雨による浸水被害の解消・軽減を図る。(雨水幹線等の計画総延長：28,532m)	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		雨水幹線排水路の整備率 (整備済延長/計画総延長)	%	64.7	62.4	63.2	63.9	64.7

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	◎令和4年度からの繰越工事（完成） ・東部4号雨水枝幹線（銚塚町） L=10.5m ・東部9号雨水枝幹線（犬伏下町） L=167.5m ・東部9号雨水枝幹線（栄町） L=5.7m ◎令和5年度工事（完成） ・東部14号雨水枝幹線（栄町） L=42.4m ◎令和5年度工事（令和6年度へ繰越） ・東部9号雨水枝幹線（犬伏下町） L=84.0m ・東部9号雨水枝幹線（栄町） L=131.6m (令和6年度への繰越額77,599千円)	活動指標	単位	R3	R4	R5
		整備延長（単年度）	m	78.3	168.4	226.1
		整備済延長（累計）	m	17,531	17,700	17,926
		事業費計	千円	135,209	124,765	165,686
		一般財源	千円	20,745	24,929	16,403
		特定財源（国・県・他）	千円	114,464	99,836	149,283
		(うち受益者負担)	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・整備率は62.8%となり、前年度より0.8ポイント上昇した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		雨水幹線排水路の整備率（整備済延長/計画総延長）	%	61.4	62.0	62.8	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・建設資材の高騰や人件費の上昇等により工事価格が上昇傾向であり、整備延長が伸び悩んでいる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	予算を増額することで成果を向上させることはできるが、財政状況や社会情勢、現場状況等を踏まえた予算規模とすることも必要である。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	市道道路冠水対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	道路河川課		市道道路冠水対策事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	道路建設係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	道路法、道路構造令、 下水道法	事業期間	開始年度	H30	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	R7	事業分類	施設等整備事業
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	本事業では、下水道課で実施している雨水幹線の整備ならびに整備が完了した排水区域内において、雨水排水計画と整合を図った、道路排水を兼ねた側溝等を整備することで、道路冠水や浸水被害の軽減を図ることを目的として、事業が開始となった。また、本事業では、上記のような下水道計画区域以外で、道路冠水や浸水被害が発生している箇所においても、事業を導入し、被害の軽減を図る整備を行う。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	冠水対策を要する路線の道路排水を兼ねた側溝等を整備し、道路冠水や浸水被害の軽減を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		整備済延長（累計）	m	286	456	696	1,006	1,306

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	主に下記の業務委託を実施した。 ・市道大伏 1 3 5 号線道路冠水対策工事に伴う詳細設計業務委託 ・市道2級109号線道路冠水対策工事に伴う測量及び詳細設計業務委託 ※市道 1 級 3 号線道路冠水対策工事が入札不調により未実施。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		工事延長	m	286	170	0
		事業費計	千円	24,640	24,662	7,876
		一般財源	千円	40	62	76
		特定財源（国・県・他）	千円	24,600	24,600	7,800
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・予定していた工事が入札不調により実施できず道路冠水等の軽減を図ることができなかった。 ・市道大伏135号線及び2級109号線道路冠水対策工事の実施に向け詳細設計業務が完了した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		整備済延長（累計）	m	286	456	456	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・令和5年度に工事予定をしていた市道 1 級 3 号線道路冠水対策工事が入札不調となったため、令和 6 年度の工事実施に向け再度入札を実施する。 ・ゲリラ豪雨の発生や土地利用の変化により道路冠水や浸水被害が頻発しており年々その対策が急がれている。今後も地球温暖化の影響により冠水等の被害は増えていくことが予想される。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	田沼地区地域排水整備事業			実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	道路河川課		田沼地区地域排水整備事業		款	8	新規or継続	継続事業
	係	河川係		業		項	3	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市公共物管理条例	事業期間	開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度	R10	事業分類	施設等整備事業	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要		
事業概要	栃木県より、田沼地区の雨水による冠水被害を低減するために、排水路の断面拡張整備が実施される。市は、応分の負担をすることによる必要な排水路を整備する。【第二工区】事業費 235,017千円 排水路 市負担分 2,270m(令和5年度～令和10年度)	

（２）目的		（３）目標値						
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	雨水排水路を整備して内水を速やかに河川に排水することにより、田沼市街地の冠水を低減する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		排水路の整備率(事業費÷長さ)	%	-	-	18.4	38.8	56.4

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績		（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・年度協定及び変更年度協定の締結。 ・栃木県への負担金として、41,147千円支出した。(排水路L=357m)	活動指標	単位	R3	R4	R5
		整備延長	m	-	-	357
		事業費計	千円	0	0	41,147
		一般財源	千円			47
		特定財源（国・県・他）	千円			41,100
		（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果		（４）事業効果を説明する数値データの推移					↓選択して下さい	
効果説明 (定量及び定性)	住環境の安全性を高めるため、田沼市街地の冠水を低減を目指し、雨水排水路の整備 L = 357m 整備をすすめた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		排水路の整備率(事業費÷長さ)	%	-	-	18.4	値が大きいほど良い	#VALUE!

(5) 費用対効果結果 (自動判定)			
費用 (R5とR4の一般財源増減)		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果は変わらない	

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	○	

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題	
・県と協議をし、年次計画どおり進めていく。	

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	一般排水路維持補修事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	5-⑦	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	都市建設部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	道路河川課				款	8	新規or継続	継続事業
	係	河川係				項	3	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	521	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市公共物管理条例	事業期間	開始年度	H20	実施方法	一部委託
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要									
事業概要	一般排水路、一般下水排水路及び幹線排水路の維持管理を行う。								
（２）目的					（３）目標値				
目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	排水路を適切に管理することにより排水を速やかに河川等に流下させる。調整池を適切に管理することで、設置の目的どおりに放流先の河川への流入量を調節する。				効果指標	単位	R3	R4	R5
					市管理一般排水路等苦情要望対応率	%	100	100	100
					幹線排水路スクリーン清掃実施割合	%	100	100	100

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績		(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移				
活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	・調整池の維持管理 ・幹線排水路スクリーンの維持管理 ・一般排水路、一般下水排水路及び幹線排水路の維持管理 ・水路工事、小破修繕、除草、浚渫、清掃等 (修繕料8,465千円、委託料13,290千円、工事請負費9,306千円など事業費37,378千円を実施した。)	活動指標	単位	R3	R4	R5
		調整池清掃	箇所	12	12	12
		幹線排水路スクリーン清掃	箇所	13	15	15
		危険箇所の小破修繕	件	25	22	24
		事業費計	千円	38,444	36,042	37,378
		一般財源	千円	38,444	36,042	37,378
		特定財源 (国・県・他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果		(4) 事業効果を説明する数値データの推移					↓ 選択して下さい	
効果説明 (定量及び 定性)	住環境の安全性を高めるため、調整池の除草、幹線排水路等の 幹線のスクリーン清掃 (15箇所) を定期的に行い、その他維持補 修を行った。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		市管理一般排水路等苦情要望対応率	%	90.9	89.5	100.0	値が大きいほど良い	効果が上がった
		幹線排水路スクリーン清掃実施割合	%	100.0	100.0	100.0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(５) 費用対効果結果（自動判定）									
費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した			※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標					効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標							
	効果が下がった指標数	0指標							
	指標全体	効果が上がった							
費用	費用は下がった								
	費用の増減無し								
	費用が増加した				○				

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

4．次年度に向けた検討

（１） 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・一般下水の排水路が老朽化しているため、修繕依頼が多くなってきている。今後も修繕が増える傾向である。

（２） 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	-----------------